



開成町の魅力

府川 貴社は、全国でも様々な事業を展開されていますが、数ある地域の中で、なぜ開成町を選ばれたのですか。

野崎 理由は2つあります。1つ目は、酒匂川などの自然や美しい田園風景、瀬戸屋敷に象徴される歴史や文化がありながら、小田急線を軸に首都圏からのアクセスも良く、世界的な観光地である箱根にも近いという優れた立地特性があることです。

さらに、全国的に人口減少が進む中で、人口が増え続けているという点にも魅力を感じました。

府川 開成町は、人口増加率が神奈川県内市町村トップでありますが、昨年3月からは小田急線開成駅が急行が停車したこと、さらには住まわれる方や訪れる方が増えていくことが考えられます。

野崎 2つ目は人です。町の有効な資源を活用し、地域活性化に繋げるのは、人が重要だと考えています。開成町には、町長をはじめ、

町職員や地域の皆さんは、「地域を元気にしたい」と思っている方が多くおられます。また、開成町に駐在している弊社の社員の開成町に対する熱い想いも大きな原動力になっていると思います。流行の言葉で申し上げます、「One Team」で、地域活性化を達成出来るのではないかと考えました。

新たな魅力と価値を生み出す場所

府川 北部地域の活性化に向け、瀬戸屋敷の交流拠点施設整備や、大型バスが受入れ可能な駐車場拡大整備を進めています。ハード面が整いつつある中、それらをどのように生かしていくのか、今後はソフト面が重要だと考えます。

野崎 弊社が開成町の地域活性化に向けてどのように貢献できるのか、3つの施策を考えています。1つ目の施策として、「地域発信の商品開発」に取り組んできました。最初は神奈川県内の未病に関する取組の一環で実施したワークショップ「はっこう大作戦」です。

野崎 秀則

株式会社
オリエンタルコンサルタンツ
代表取締役社長

府川 裕一

開成町長

世界に広がれ

開成町の魅力

築300年の古民家「あしがり郷瀬戸屋敷」。
指定管理者制度（※1）導入から3年、新たなステージが動き出しています。
指定管理者として感じる町の魅力や、北部地域活性化の展開に向けた想いを、
府川町長が株式会社オリエンタルコンサルタンツ代表取締役社長 野崎秀則様にお聞きしました。



2



1

- ①今年4月オープン予定の地域交流拠点。瀬戸屋敷の表門の横に、建設中。
- ②毎月様々なイベント等が開催され、町内外から人が集まる。写真は昨年3月に開催された「せとわらしまつり」。開成町の特性でもある水路を生かし、ダックレースを行った。

用語

※1 指定管理者制度…公の施設の管理運営を民間事業者等が行う制度。民間のノウハウを活用して、サービスの向上や経費削減等を図ることを目的としている。